

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年															2025年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日
カンピロバクター	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	3	3 (6)	5
病原性大腸菌	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	1	4 (5)	10
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0
サルモネラ	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	0	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	1	1 (4)	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	1	1 (2)	4
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第3週(1月13日~1月19日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	5	結核	5			1		2	1	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1			1					
四類	1	E型肝炎	1							1	
五類	16	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2					1	1		
		急性脳炎	2				1			1	
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1							
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1						1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	3				1		2		
		梅毒	3				1			2	
		播種性クリプトコックス症	1						1		
		百日咳	3			1				2	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり14.22人と、前週と比べて減少しましたが、注意レベル(定点当たり10人)を上回っており、引き続き注意が必要です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は6件の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第3週 A型:153人、B型:0人

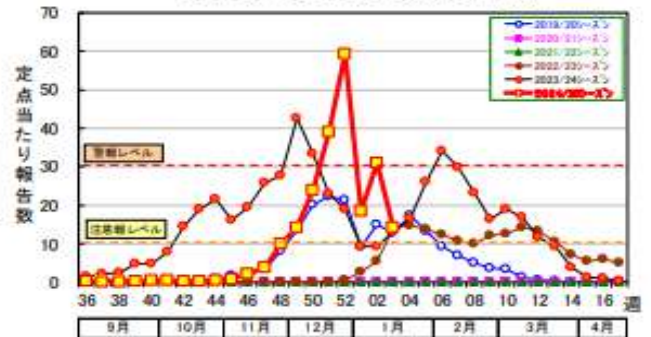
2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.42人の報告がありました。手洗い、換気、マスク着用推奨場面(医療機関や高齢者施設等の訪問時)でのマスク着用など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり5.39人の報告があり、多い状況が続いています。例年、冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加するため、注意が必要です。

インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1.2以上の増減
												急増	増減	
インフル	インフルエンザ	512	14.22	8.01	↓	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.09		↑	前週と比較しておおむね1.2以上の増減	
	新型コロナ(COVID-19)	87	2.42		↔		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.03		↓	前週と比較しておおむね1.15~2の増減	
小児科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.10		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		↔	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	2	0.09	0.56			流行性角結膜炎	8	1.00	0.50	↓	↑	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.96	1.04	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		↔	ほとんど増減なし	
	感染性胃腸炎	124	5.39	7.44	↔		無菌性髄膜炎	-	-	-		↔	ほとんど増減なし	
	水痘	1	0.04	0.15			マイコプラズマ肺炎	13	2.17	-		↔	ほとんど増減なし	
	手足口病	4	0.17	0.22			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		↔	ほとんど増減なし	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		↔	ほとんど増減なし	
	突発性発しん	4	0.17	0.29										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	4	20歳代・推定感染地域: 国外、70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1	80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	60歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	3	70歳代、80歳代
5	播種性クリプトコックス症	1	1	20歳代
5	百日咳	2	5	10歳未満、10歳代